



Now

農 info



農業振興センターから、市の農業振興のために農業に関する情報を発信します

【問】 農業振興センター
☎ 0291-35-3114

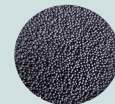
▶ バイオスティミュラント資材を用いた栽培試験を実施してみませんか？

農業生産現場におけるバイオスティミュラント資材の効果や活用方法を検証するため、実際の圃場で栽培試験を実施していただける生産者を募集します。資材は、市が無料で提供します。「新しい農業技術を試してみたい」「栽培技術の向上につなげたい」という生産者の方のご参加をお待ちしています。

- ▶ 対象 市内で作物を栽培している認定農業者・農業法人等
 - ▶ 募集人数 10人程度
 - ▶ 料金 無料
 - ▶ 結果報告 作物収穫後、1カ月以内に報告
- ※試験結果は、今後の農業技術の普及や地域農業の振興を目的として活用する場合があります。
- ※詳細は、農業振興センターへお問い合わせください。

Q バイオスティミュラント資材とは？

農作物やその周辺環境が本来持つ自然な力を活用することで、農作物の健全さ、高温・乾燥などのストレスへの耐性など、農産物に良好な影響を与え、品質向上と収量アップが期待される資材です。



◀ 資材の例

🏠 農業用ハウスの災害被害防止へ備えを

近年、地球温暖化の影響により、台風や大雨、大雪などの自然災害が激しさを増し、農業用ハウスの大きな被害が発生しています。

このような状況を踏まえ、茨城県農業技術課では、農業用ハウスを利用する皆さんが自然災害への備えを円滑に進められるよう「茨城県農業用ハウス災害被害防止マニュアル」をウェブサイト上で公開しています。マニュアルでは、農業用ハウスの補強や日頃の点検・保守管理などの事前対策から、災害発生後の対応まで分かりやすく紹介しています。農業用ハウスの強靱化や被害軽減対策、発災時の事後対応などにお役立てください。

また、茨城県鹿行農林事務所（経営・普及部門）では、農業用ハウスの強靱化に役立つさまざまな補強方法や具体的な施工手順を紹介する動画を作成し、YouTubeで配信しています。実践的な内容となっていますので、マニュアルと併せてぜひご利用ください。



▲ マニュアルはこちら



▲ 補強方法の動画はこちら



▲ 農業用ハウスの被害の様子

【問】茨城県鹿行農林事務所行方地域農業改良普及センター
☎ 0299-72-0256

どうぶつとみんなのいえ日記

フタユビナマケモノ ▶ 名前 カヌレ（オス）、アミ（メス）
クロロ（オス）

ナマケモノは、なぜゆっくり動く？

毎年10月第3土曜日は「国際ナマケモノの日」です。これは、ナマケモノの保護活動を行うAIUNAU（アイウナウ）財団が、ナマケモノの生態や彼らが直面している森林伐採などの環境問題について知ってもらい、生物や環境に対する意識を高めてもらうことを目的に制定しました。

当園にも、3頭の「フタユビナマケモノ」が暮らしています。その名のとおり、前足に2本、後ろ足に3本の長い爪を持っているのが特徴です。1日のうち、15時間以上を眠って過ごし、起きている時もスローモーションのように動くため「怠け者」と呼ばれてしまっていますが、実はこの動きには深い理由があります。彼らの主食は、あまり栄養やカロリーがない木の葉です。そのため、無駄なエネルギーを使わずに生きていけるよう、究極のエコな体へと進化しました。代謝が低いので、排せつは週に1～2回ほどです。また、木の上でじっと動かないことで、ワシやジャガーなどの天敵の目を欺く「かくれんぼの達人」でもあるのです。怠けているのではなく、厳しい自然界を生き抜くための立派な生存戦略なのです。

ナマケモノガイドに参加して、知られざる魅力を学んでください

当園では、飼育員によるナマケモノのお話「ナマケモノガイド」を毎日開催しています。ぜひこの機会に「のんびり」だけでなく、知られざるナマケモノの魅力を知っていただけたらうれしいです。

営業情報など施設の詳細は、右のQRコードからホームページをご確認ください。当園では、動物の魅力を手近で感じ考え学習できる場を提供していきます。皆さまのご来場を心よりお待ちしております。

【問い合わせ】霞ヶ浦どうぶつとみんなのいえ ☎ 0299-55-3928

霞ヶ浦
どうぶつと
みんなのいえ
place for everyone担当飼育員
坂田 萌々香さん